

報道各位

NO: 14-09HRHA

2014年6月13日

ヒューマンリソシア株式会社

ヒューマンアカデミー株式会社

企業のグローバル化でニーズ拡大

日本語教師の人材紹介サービスを開始

豊富な社会経験が強み！日本語教師を目指す50代以上が急増

ヒューマンホールディングス株式会社の事業子会社で、総合人材サービス事業を運営するヒューマンリソシア株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:御旅屋 貢)は、日本語教師の人材紹介サービスを開始いたします。

ヒューマンリソシア株式会社は、グローバル人材を社会へ輩出することを目的とし、2014年4月より、グローバル事業部の体制を強化しています。それまでの「グローバル人材を送り込む」ことから一歩進み、「グローバル人材を育てる人材を送り込んで」いきます。この事業の第1弾が「日本語教師の人材紹介サービス」です。

教育事業を運営するヒューマンアカデミー株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:岡本 成正)が開講する「日本語教師養成講座」の修了生をはじめとした優れた人材を送り込むことで、グローバル採用が進む企業の人材育成をサポートし、日本企業の国際競争力の向上に貢献していきます。

ビジネスモデル

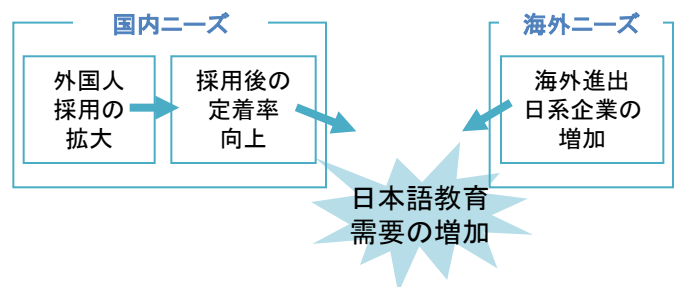


開始の背景

増える外国人採用・海外進出企業

国内および海外進出した日系企業の外国人採用が増えています。厚生労働省が2013年10月末にとりまとめた外国人雇用についての届出状況によると、外国人労働者数は前年同期より5.1%多い717,504人で、2007年に届出が義務化されて以来、過去最高水準。外国人を雇用している事業所は、前年同期比5.8%増となる126,729か所。初めて12万事業所を超えました。

一方、海外に進出する日系企業も増えています。経済産業省の「海外事業活動基本調査」によると、2012年度末における海外現地法人従業員数は、前年度比6.8%増となる558万人で、過去最高水準となりました。



外国人社員への日本語教育の必要性

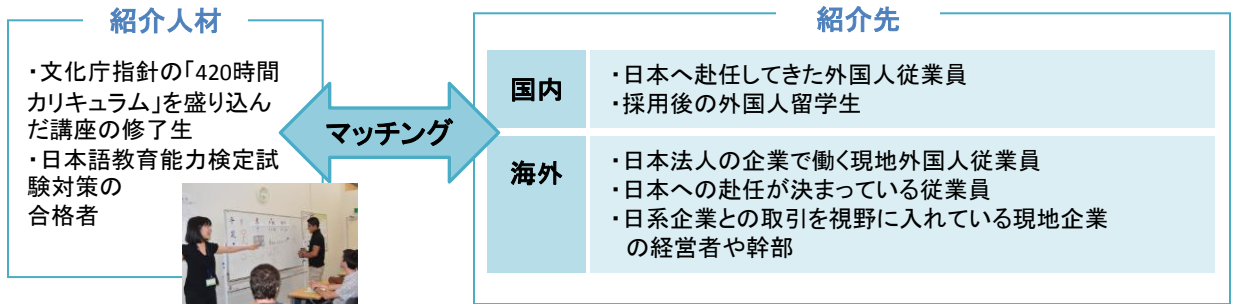
こうした中で、円滑な業務遂行および外国人社員の定着のカギとなるのが、「言葉」と「企業文化の理解」です。経済産業省が実施した「2012年外資系企業動向調査」によると、約6割の企業が「日本語でのビジネスコミュニケーションの困難性」を外国人を雇用するうえでの阻害要因としてあげています。実際に日本企業で働く外国人数名にヒヤリングしたところ、「敬語」「擬音語」といった日本語そのものだけでなく、「本音と建前」「婉曲」など日本独自の文化、「残業に対する考え方」「仕事の進め方」など企業独自の文化などに戸惑う外国人が多いようです。こうした戸惑いや不安を解消し、雇用した外国人の定着率を上げることは、日本企業がグローバル競争で生き残るために喫緊の課題です。



こうした背景から、日本語教育のニーズが拡大しています。

ターゲット

紹介する人材は、文化庁指針の「420時間カリキュラム」を盛り込んだ講座の修了生か、日本語教育能力検定試験対策の合格者です。ヒューマンリソシア(株)は今年度中に、100名の日本語教師を企業へ送り込む計画です。紹介先となる企業は、日本語スキルをもった人材の育成を課題としている企業です。



日本語教師を目指す人が急増

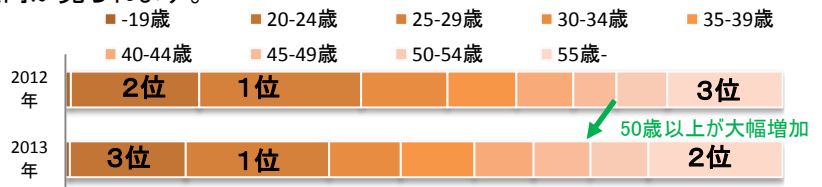
ヒューマンリソシア(株)が、企業のグローバル人材育成のために送り込む「日本語教師」。ヒューマンアカデミー(株)では、24年前の1990年から「日本語教師養成講座」を開講しています。近年のグローバル化を反映し、日本語教師を目指す人の属性にも新たな傾向が見られます。

【傾向1】55歳以上の男性が急増

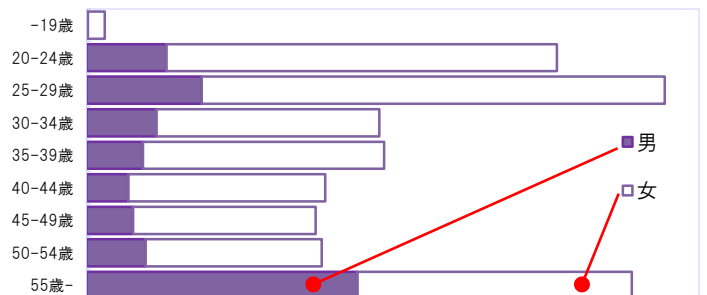
2013年度のヒューマンアカデミー「日本語教師養成講座」の受講生は2,433人で、前年度と比べると20%増加しました。

受講者を年代別にみると(資料1)、25~29歳が1番多く、全体の19.6%を占めました。次に多いのが55歳以上で、昨年より2.7ポイント増え、2位に浮上しました。全体的に50歳以上の方の受講の増加が顕著です。

受講者を性別にみると、54歳までは女性の受講者比率が圧倒的に高いのに対し、55歳以上においては、男性の受講者数が増え、男女比がほぼ半々になります(資料2)。



資料1) 「日本語教師養成講座」受講者の多い年代



資料2) 「日本語教師養成講座」受講者の年代別の男女数 2

【傾向2】判断力、対応力…日本語教師にキャリアが活きる

50・60代はグローバル化の新たなキーパーソン

受講生へのアンケートでは、20代は「文化や人の影響」、30～40代は「夢の実現」が日本語教師を目指す動機となっているようです。最近増えている50歳以上は「人の役に立ちたい」という社会貢献への思いが強い方が多いことが特長です。ビジネスパーソンや主婦・母としてのキャリアが長く、「相手の立場を考えて対応・判断する」「創意工夫する」といった教師として必要なスキルを備えている50歳以上の方は、日本企業のグローバル化を支える新たなキーパーソンとなりそうです。

広告やコピー制作に長年携わり、短い日本語でどれだけ商品の魅力を伝えられるかを仕事にしてきた徳永さん。約10年前から始めた作文添削では、外国人のものも手掛けるようになり、多くの外国人が日本文化に興味を持っていることを知りました。



徳永芳男さん(60代・2014年4月入学)

そして60代になり、時間・経済的な余裕や「学びたい」という気持ちが芽生え、「やりたいことを先送りしないでストレートにいこう」と思えるようになったこともあり、かねてより興味を持ってきた日本語教師を目指すことにしたそうです。

「世界でも独自の発展を遂げた優れた日本文化を学びたいという外国人の役に立ちたい」と考える徳永さんは、Cool Japanの魅力を大いに広めたいという意欲に燃えています。日本語の魅力を伝える仕事をしてきた徳永さんのキャリアが、グローバル化の進む中で、日本と日本人を真に理解する人材の育成にもしっかりと活かされるでしょう。

「仕事や子育てなど様々な経験を経た50代だから、人生をかけて日本語を学ぶ外国人に教える以上のことをしてあげられる」。こう語る西内さんは、子育てが落ち着いたあと、幼児教育や大学生向け面接セミナーの講師、テレビ通販番組のアナウンサーなど、「伝える」仕事に従事してきました。

「人に何かを伝え、理解してほしいような顔をしてくれることがモチベーション」という西内さんが日本語教師に初めて興味を持ったのは25年前。伝える仕事をする中で、自分自身も含めて日本人がきちんと日本語を学んでいないと感じ始めた頃でした。また、伝承されなくなっている日本の伝統文化も、外国人に伝えることで日本人に興味をもってもらえるのではないかと考えるようになったそうです。

日本に駐在する外国人が増える中、西内さんは「日本語教師として、主婦・妻・母の立場で日本に来た女性やこれからの社会を支える子供たちのために環境作りをしたい」と話します。家庭・社会経験などで女性や子供の気持ちに寄り添ってきた西内さんのような人が、これからのグローバル社会で能力をますます発揮するでしょう。



西内多恵子さん(50代・2014年4月入学)

ヒューマンリソシア(株)

1988年の創設以来、人材派遣、正社員紹介事業、アウトソーシング・国際人材コンサルティング・企業研修などの幅広い人材サービスを全国27拠点で展開しています。グループ内の教育事業をバックボーンにしていることが強み。また、多様な雇用形態とシニア・女性・グローバルなど多様な人材を組み合わせ、「労働力確保の最適化」を目指しています。

※拠点数は平成26年3月末現在

- 代表者：代表取締役 御旅屋 貢
- 所在地：東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿木村屋ビル
- 資本金：1億円
- URL：<http://resocia.jp>

ヒューマンアカデミー(株)

1985年の創設以来、社会人教育の「ヒューマンアカデミー」(全国36拠点)、全日制教育の「総合学園ヒューマンアカデミー」(全国19拠点)、児童教育の「ヒューマンアカデミーキッズサイエンス」(全国約530教室)など、幅広い年代を対象とする教育事業を全国で展開。講座数は約784。修了後はグループ内の人材事業が就職・転職をバックアップしています。

※拠点数は平成26年3月末現在

- 代表者：代表取締役 岡本 成正
- 所在地：東京都新宿区西新宿7-8-10 オークラヤビル4階
- 資本金：1,000万円
- URL：<http://haa.athuman.com/>

<このリリースに関するお問い合わせ>

ヒューマングループ 広報担当：原

TEL：(03)6388-0108

FAX：(03)6846-1220

E-mail：kouhou@athuman.com